

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年1月31日
北アルプス地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	17	課題区分	A		
実施機関	北アルプス地域振興局、北アルプス農業改良普及センター			担当課	所属 農政課
事業名	酒米プロジェクトで醸造された日本酒のPR事業			電話	0261-23-6510
				E-mail	kitachi-nosei@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	酒米プロジェクトにより醸造された日本酒について、管内で開催されるイベントを活用し一般消費者にPRすることにより北アルプス地域の魅力の向上と将来の誘客アイテムにつなげる。			
	現状と課題	平成27年度から「酒蔵ニーズに応える大北産高品質酒米プロジェクト」として、酒米の高品質化に向けた栽培技術の実証・普及や酒米新品種の普及を酒蔵・酒米生産者・指導機関の3者が連携して取り組んでいる。 プロジェクトにより完成した日本酒は平成29年4月から販売が開始されているが、地酒の高付加価値化及び消費拡大につなげるためには、一般消費者からの評価を把握し検討する必要がある。			
	内容 (変更後の内容)	<管内で開催されるイベントでのPR活動(2回)> (1)イベント ・平成30年9月1日:第11回三蔵呑み歩き ・平成30年11月3日:2018 松川村米蔵日本酒祭り (2)実施内容 ア パネル展示及び稲穂・玄米展示 イ 酒米プロジェクトの取組により完成した日本酒の試飲 ウ 試飲によるアンケート調査			
	事業期間	平成30年7月		～	平成30年12月
成果目標 (成果指標)	試飲した一般消費者からの評価アンケートとして集計(目標:250人) 結果を酒蔵にフィードバック				
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	展示・PR	酒米プロジェクトの紹介(パネル展示及び稲穂・玄米展示(スライドショー))	41,136		
	日本酒の試飲	酒米プロジェクトの取組により完成した日本酒の試飲	124,753		
	アンケート調査	試飲によるアンケート	61,794		
合計			227,683		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	1 パネル展示及び稲穂・玄米展示 酒米生産者等が直接参加者へ栽培技術の紹介等を実施 2 酒米プロジェクトの取組により完成した日本酒の試飲 ・試飲日本酒「深水栽培(美山錦)」、「酒米新品種【信交酒545号(山恵錦)】」 3 試飲によるアンケート調査 ・総調査数:307名 (1)三蔵呑み歩き:200名 (2)松川村米蔵日本酒祭り:107名		1 パネル展示及び稲穂・玄米展示 参加者が、栽培技術の紹介とともに稲穂や玄米を手に触れることにより、酒米生産の状況を実感いただく機会となった。参加者から、酒米を実際に見られる貴重な体験との声が寄せられた。 2 酒米プロジェクトによる日本酒の試飲 多くの試飲者を確保し、大北産の地酒のイメージアップに繋げることができた。 3 試飲によるアンケート調査 目標を大きく上回る調査数を確保できた。また、アンケートでは概ね7割の試飲者から、味・香りともに良いとの評価があった。酒米プロジェクト検討会(12月18日・19日)等において、酒蔵や酒米生産者へ結果をフィードバックした。		<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下
今後の方向性	平成31年度に向けた新たなPR方法の検討 (酒販店・業界誌関係者を対象としたアプローチ)				